

◇鈴木正洋君

○議長（澁谷俊二君） 次に、3番、鈴木正洋君の一般質問を許可いたします。鈴木正洋君、登壇願います。

（3番 鈴木正洋君 登壇）

○3番（鈴木正洋君） おはようございます。

通告に基づき「雪に強いまちづくりを」というテーマで質問をさせていただきます。

先日、「冬もラクラク！流雪溝や消雪付き土地情報」と書かれた宅地分譲のチラシを目にしました。我が町も「雪寄せが楽な美郷町を選んで住みました」と言われるようになってほしいと思います。気候変動により雪の降り方が以前とは違ってきていること、また高齢者世帯が増えているという現状もあり、雪への対策は前にも増して重要な課題になってきたと感じます。

以下、4項目について質問をいたします。

1番、「六郷市場通りの消雪道路をどうするか」

令和3年度施政方針の中に「中央通り線の消雪施設の点検整備等を実施」とありました。今後どのような道路にしていこうと考えているのか、目指している姿について伺います。

山崎竹屋さんのある交差点から六郷小学校前の信号のある交差点までの通称・六郷市場通りですが、冬場は通るのがためられる「舌かみ道路」になります。雪がきれいに消えず、凸凹した洗濯板のような路面状態になっていることが間々あります。これ以外にも当区間にはいろいろな問題があります。除雪グレーダーが置いていった氷の固まり、これは雪ではなく水を吸って固まった氷です。これを処理するのに難儀する。跳ねた水で服が汚れてしまう。路肩の傾斜がきつくて歩きにくい。冷えた朝に路面の氷で足を滑らせて転んでしまったなどのほか、水環境保全条例を制定している町でありながら効率的とはいええない利水方法が嘲笑の対象にもなっています。住民の間では消雪ではなく、むしろ普通の道路であったほうがよいという声も耳にします。今冬、米町の一部区間は道路に水を流さないことを選択しました。住民は雪寄せがとても楽になったと喜んでいきます。

道路の消雪設備を修繕すれば先に挙げた問題が解決されるのか、六郷市場通りは今後も消雪道路として使い続けていくつもりなのか、町当局の考えをお聞かせください。

2つ目、「流雪溝の整備拡充を考え、住民の声を聞いてみては」

六郷町部に流雪溝をとという話は過去にもありました。平成21年、大町、上町、荒町、本道町、米町の住民を対象に流雪溝の整備について意見交換が行われましたが、利用組合の設立には至らず、計画は流れたという経緯があります。今冬、そのことについて対象地域の住民に話を聞いた

ところ、「そんな話があったことは知らない」「流雪溝があれば助かるのに」という声を耳にしました。当時から10年以上が経過し、高齢化も進み、世帯主が代替わりした家もあります。流雪溝の整備について、今改めて住民に考えを確認すべき時かと考えますが、いかがでしょうか。

3番、「融雪槽など無散水型融雪装置の設置に補助を」

北海道の住宅地では融雪槽がよく使われています。地中に埋設した槽の中に雪を投入し、地下水や温水などを利用して解かします。寒い北海道では消雪の目的で地面に水を流すことはしません。流雪溝が整備されている住宅地は思いのほか少なく、除雪車が置いていった雪は各家々の敷地内にある融雪槽で処理することが多いように見受けられます。

北海道や青森県の自治体には融雪槽の設置に補助金を出しているところがたくさんあります。秋田県内では小坂町が融雪装置設置費補助金を制定しています。補助の内容は設置費用の3分の1、最大30万円となっています。

六郷町部は流雪溝を整備するのが非常に難しい場所です。雪捨て難民の問題解決には各家々に融雪槽を設置することが有効だと考えます。六郷の市場通りに面している家では実際に融雪槽を使用しています。地表面に水を流さない無散水融雪型装置は水資源保護の観点からも優れた方法であり、氷で足を滑らせて転ぶこともなく安全性も高いと言えます。雪寄せに難儀をしている六郷町部のような家屋連担地域で融雪槽などの無散水型融雪装置を設置する際、町で補助することはできないのか、御検討を願いたいと思います。

4番目、「排雪を行う通りの優先順位はどうなっているのか」

作業予定の情報提供があれば苦情も減るのでは。

排雪作業が行われる通りの優先順位については、住民の感覚との間にギャップがあると感じます。「なぜあの道のほうが先なのか。こっちは道は通学路なのに」といった声を今冬はよく耳にしました。排雪を行う通りの順番はどのように決められているのか、御説明をお願いします。

また、町民からの問い合わせや苦情を減らすため、排雪の予定を情報として提供してはどうでしょうか。横手市は除雪の予定をスマホのアプリで知ることができます。そういった本格的なものではなくとも美郷町が運営するフェイスブックやツイッター、防災メールなどで「〇月〇日に〇〇通りの排雪作業を行う予定です。御近所の方にもお知らせください」と流すだけで待つ人の気持ちも穏やかなものになると考えますが、いかがでしょうか。

以上、4項目についてお伺いいたします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまの御質問にお答えいたします。

御質問の1点目、中央通り線についてですが、私が美郷町長に就任した段階において、当該路線は消雪が十分でなく、解け残った雪が筋状に残る通称「舌かみ道路」と言われておりました。その消雪施設については、昭和47年頃に整備されており、整備動機は住民等からの要望だったと伺ったことがあります。

美郷町としては、その状況を何とか解消したいと思い、水が均等に路面を流れることで均等に消雪されるよう、平成21年度に約9,000万円の事業費をかけ、路面均平を確保する舗装面改修を行うとともに現在のノズルへの交換を実施しております。しかし、経年によって舗装面にまた凸凹などが発生するとともに、老朽化に伴う本管の漏水とおぼしき水量低下などによって再び昔の通称が復活する事態になっているところです。特に、今年度は消雪能力を超える量の降雪に次ぐ降雪で、さらに状況がひどくなってしまったところです。

消雪対応については、水源井周辺の水位低下に伴う周辺住宅への影響に配慮し、かねてより午後9時から翌日午前6時までとしているほか、現在は一斉除雪を実施した日に併せてグレーダーによる除雪も実施しており、その寄せた雪塊が議員御説明の氷の塊化しているものだろうと存じます。

なお、当該路線は道路面が湾曲しており、均平に路面除雪することが技術的に難しく、舌かみ状況を完全に除去することが難しい道路構造となっているところです。

そこで、舌かみ状況の今後の改善策についてですが、結果的に消雪施設で十分に消雪するか、ドーザやグレーダーなどで通常除雪を実施するかの二者択一になるものと思います。しかし、後者については、道路幅が狭く、家屋が連担し、かつ道路と家屋の立地距離が短い当該路線では実施が極めて難しいと思います。つまるところ、その改善策は消雪施設の機能向上に求めるしか現時点の選択肢はないのではないかと存じます。

そのため、来年度においては、道路均平の確保と本管の漏水止水等でどの程度消雪の効率を上げられるか検証することとし、もともと道路補修が必要だった鑓田地区の当該路線の一部区間において、路面均平に係る舗装の改修工事とともに老朽化本管の入替えとノズル再交換も行い、効果を検証してまいりたいと考えております。

なお、その検証結果がよければ投下予算規模を考えながら年次計画を策定し、鑓田地区から南下していくよう検討してまいりたいと存じます。

次に、御質問の2点目についてですが、流雪溝の整備については、平成20年度に国の交付金を活用してコンサルタントに調査を委託し、その結果、中央行政センターを挟む形の坪立線と荒町

線の2路線で一定条件のもとであれば実現可能性があるとし、それを踏まえて平成21年度に住民アンケートを実施しております。

その一定条件が流雪溝に流せる水量が限定的であるため、各路線に時間割りで通水すること、各路線で下流側から順序に雪を投げる投雪時間を設定すること、それを実践していくためには住民による管理組合の設立及び管理運営が必要であるというものでした。こうしたことを住民に提示しながらアンケートを実施したところ、「流雪溝の組合を設立し、運用できる」と回答した方は15.1%という低い結果で、残念ながら流雪溝の整備を断念したという経緯です。

流雪溝の整備には水の確保を前提に多額な工事予算が必要となりますが、以前は国の特定財源確保の見通しがあったため実施について検討を進めましたが、現在はそれが無いこと、また今後その見通しを得るには一定の年数が必要なこと、さらに中央通り線への対応と並行して一般財源で流雪溝に対応することは特定地区にのみ予算が投下され、他地区の必要整備ができないことになることから現実的ではないと存じます。

そのため、先の見通しを持たずにアンケート実施することは、ある意味で無責任な行政対応になりますので、現時点ではアンケートの再実施を行うことは考えておりません。

なお、流雪溝の整備に係る一定条件のクリアについては、今後も同様に必要と認識しております。

次に、御質問の3点目についてです。融雪槽については、地下水を利用して融雪し、その水を流出させていると伺いましたが、結果的に地下水の使用水量を増加させますので、飲用水を地下水に頼っている地域においては、多くの世帯が設置した場合は水位低下に伴う飲用水への影響が懸念され、行政がその設置を推進することとなる補助制度の創設は難しいものと存じます。

また、無散水型融雪施設については、地下水をくみ上げて循環させることで融雪する施設ですので、基本的に地下水消費量は増減しないように思いますが、配管からの漏水による地上浸出などの故障例もあるようですので、まずは地下水量及び水質への影響などを他自治体の事例を通じて調査・把握し、その上で六郷地区のみならず美郷町全体を対象に補助制度を創設することが妥当か否か、今後検討してまいりたいと存じます。

次に、最後の御質問についてです。まずは、除雪作業の出動について説明いたします。

午前0時に降雪量が10センチメートルを超えるか、または超えると見込まれる場合、及び強風による吹きだまりが発生し、通行障害があると判断した場合、出動の指示を出します。出動した場合は午前7時頃までに除雪を完了することを目標としているところです。

排雪作業が必要と判断した際の出動については、除雪作業が終了後、午前9時頃から排雪計画

に基づき排雪作業に入ります。除雪作業の出動がない場合は午前1時より午前7時まで実施しているところです。

さて、六郷地区の排雪についてですが、まず東西の道路を行い、その後南北の道路を行っております。住宅密集地は2班態勢で作業をしておりますが、道路延長が長いために全域の排雪に1週間程度必要で、車両同士のすれ違いができるように配慮しながら作業を進めているところです。

一方で、こうした排雪作業後に民地から道路に雪が捨てられ、排雪作業の意味がなくなる箇所も残念ながら見受けられますので、こうした行為はどうかかなさらないようお願いを申し上げます。

作業の周知についてですが、大仙市ではホームページにて除雪機械の作業箇所が表示され、横手市では除雪出動の有無が表示されるようですが、いずれも排雪の場所や日時の予定は提供しておりません。また、排雪作業は除雪作業の後の作業となることがありますので、降雪状況によっては予定を大幅に変更せざるを得ない状況も生じます。そのため、御提案の排雪作業に関する情報開示には効果と弊害の両面があるものと存じます。

現代は情報開示の時代であることは私も認識し、理解しておりますが、精神的に強い緊張感が伴う除排雪作業の実態と作業オペレーター確保が難しい状況を踏まえますと、弊害に対する細心の注意が必要と存じ、現在のところ実施することは考えておりません。

なお、作業水準に町内外から評価を頂いている美郷町の除排雪作業については、今後も引き続き堅持していくように努めてまいりたいと存じます。以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）3番、鈴木正洋君の再質問を許可いたします。

○3番（鈴木正洋君） 融雪槽、無散水型の融雪槽についてですが、地下水の使用量を増やすということは必ずしも正解、全てに言えることではないというふうに感じました。といいますのは、地下水をくみ上げて融雪に使う方式もあれば、例えば灯油ですとかそういう燃料をたくことによって融雪に使うという方式もありますので、無散水型融雪槽が必ずしも地下水の使用量を増やすということにはつながらないということを、まず一つ御理解いただきたいと思います。

あとは、六郷市場通りの消雪についてですけれども、二者択一と、普通の道路にするかそれとも散水型の消雪道路にするか二者択一で検討したというふうな答弁があったかと思いますが、それ以外の融雪方法についても、ぜひ検討していただきたいなというふうに思います。地表面に水を流さなくても、例えば最近では地中熱を利用するですとか、そういうふうな無散水型の新しい融雪の方法がいろいろ開発されてきております。そういった全ての方法を俎上に乗せていただいて

消雪能力ですとか施工のコスト、あとはその後のランニングコストなども含めて普通の道路、散水型消雪道路、あとは新方式の融雪道路、どれが一番ベストなのかということを探っていただきたいというふうに思いますが、この件について御見解をお伺いいたします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、自席でお願いします。

○町長（松田知己君） ただいまの再質問にお答えいたします。

無散水型の融雪槽の熱源を地下水ではなくて灯油に求めるというタイプがあることを承知しておりませんでしたので、改めてそこは確認したいと思います。

また、中央通り線について、無散水型の地中熱利用、結果的には無散水型の融雪施設と同等になるものと存じますが、想像するだけでかなりの工事費がかかることが予想されます。財源を無視しますと技術的には可能ですが、財源を目の前にして一定期間の中で議論をするとかなり無理な選択肢じゃないかと存じます。否定はいたしません、御指摘は受け止めながら、今言った事情についても議員には御理解をお願いしたいと思います。以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再々質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、3番、鈴木正洋君の一般質問を終わります。